

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		12	5		17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	15	1		17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	11	5		17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	7		17

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 利用者やご家族の情報を現場の職員に出来るだけ詳しく正確に伝えられるように、朝・夕のカンファレンスやミーティング、月 1 回の全体会議開催等に努めている。それ以外にも利用登録時の情報提供書や退院ナリ等の確認、連絡ノート (その日の出来事や利用者の状況等を記載) の活用、利用者ご家族への声掛けによる関係作り等を実施している。自立を促すケアや本人の希望に沿ったケア内容に努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 入社間もない職員やパート等で勤務時間の短い職員の場合はミーティングへの参加機会や、利用者や家族とのコミュニケーションを図る機会が少ない為取り残される面がある。又介護技術が未熟な職員は、何を、どのように、いつ伝えたら良いか分からない等から初期支援への関わりが難しい。ケアマネが自宅訪問し本人やご家族の相談援助を実施するが、他の職員とのそこで得た情報の共有が出来ず、利用者やご家族がどのような不安や要望を持っているかが分からない。連絡ノートの記載が他の職員に分かるように記入出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
 職員の資格や職種、勤務条件等の違いにより、ケアの質に差が生じている。職員間の連携 (特にケアマネジャーと他の職員) や情報の共有がスムーズに出来る様に、又全員の職員が利用者や家族の状況を把握できる様、ミーティングの在り方や連絡ノートの記載の仕方や活用方法を改善する。声掛けや良い関係作りからもう一歩進んで、問題点の把握や改善の為に介入が図れる様に、職員の質の向上を図る為の事業所内の勉強会や外部研修を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	7	4	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		11	2	4	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9	5	3	17
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	8	4	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>自分の専門領域における範囲では出来ている (リハビリ職員、入浴専従職員)。日々の関わりの中で利用者とのコミュニケーションに努め本人の思いを尊重しながら、可能な限り要望に沿えるように利用者自身又他の職員とも相談しながらケアに努めている。毎日のケアに関しては本人の状態をきちんと見極めた自立支援が出来ている。利用者の希望を取り入れたレクリエーションや外出行事を企画し楽しい時間作りに努力している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人の希望と出来るレベルのギャップがあり実現困難な場合がある。制度上無理な場合やリスクが大きく利用者の思いに寄り添えない場合もある。利用者自身が本当に満足出来ているのか、職員の自己満足になっていないか気になる場合もある。利用者一人一人の人生を見つめてその人生に寄り添う形のケアにはまだ届いていない。利用者の目標等を記載したケアプランを全職員で検討するまでには至らない。職員に利用者の“～したい”を引き出す為のスキル (相談援助技術) が不足している。入浴専門のパート職員は出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>職員全員が一人の一人の利用者の目標について分かる為に、ケアプランの内容を深めたり確認したりするための事例検討会を開催する。利用者の生活に根差したケアプランに変えていく。パート職員にも利用者についての情報の共有が出来る様に個別指導していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	8	4	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	11		2	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	2	12	2	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	12	2		17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	12	2		17

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ミーティング等で共有した情報や個々の利用者との対話等の中で得た情報等を念頭に、その日の利用者の状態に応じた又安全に配慮した生活支援が来ている。毎日のミーティングで、利用者の変化に気づいた職員から問題提起があった場合は、その場でミニ事例検討会を開催して対応策を検討し、直ぐ実行出来る様に職員全員が心がけている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 情報を共有しても次の支援に活かしていない事がある。来ている職員と来ていない職員間の差が見られる。コミュニケーションが取りにくい利用者や、あまり積極的に会話がなない利用者に関しての情報把握が出来ていない傾向がみられる。又利用者の自宅での生活環境の把握等は、ケアマネや主な職員以外は来ていない。一人一人の職員が一人一人の利用者の暮らしの情報を自分で入手する事はシステムのにも困難。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 全ての利用者に関してより良いケアの繋げていく為に、問題のあるなしに関わらず最低でも1回は事例検討会を持ち、基本的な情報や以前の暮らし、環境、体調や精神面等に係る情報を把握し職員間で共有できる機会を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	8	3	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	7	6	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	5	6	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	5	9	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
週 1 回公民館体操へ利用者と共に参加し地域との交流を持っている。又町内会長さんや民生委員さんとは必要に応じて情報交換等実施出来る関係を築いている。又日常に於いては、送迎や訪問業務時等に利用者や家族から情報を把握し、今までの生活スタイルや周囲の環境に配慮した支援に努めている。地域の方々とも信頼関係を築いている。暮らしに困っている所は無いか等、利用者の生活状況を聞き対応に努めている。事業所の夏祭りに地域の方に参加して頂き地域に溶け込んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所のある地域外からの利用者については、地域が離れている事から、特別な場合以外は地域との連携は出来ていない。管理者やケアマネは地域に出る頻度が高いが、一般の職員は業務を離れて地域に出かける時間的余裕がなく直接的に地域の状況を把握する機会が少ない。入浴中心のパート職員等になると、地域との接点を持つ機会は殆どないのが現状であり、利用者を取り巻く状況について見えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者や利用者を取り巻く家族や地域の状況について把握した情報を全ての職員が閲覧出来る様に、利用者毎に情報シート (仮名称) を作成する。運営推進会議の場などで地域の社会資源についての情報を得る。又得た情報を職員にも伝え、利用者の役に立てる様に関わって行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	7	10	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	4	4	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	10	5	1	17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	13	1	2	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>通いサービスに於いては、利用者や家族の状況（出勤や帰宅時間）に応じた時間で個別対応している。当日の受診希望等プラン外の急な依頼にも対応に努めている。急な泊り希望や体調悪化時に自宅で看れない（老々介護や独居）利用者の泊りの提供等も職員に看護有資格者が多い為対応出来ている。毎朝・夕ミーティングを実施し、当日の利用者の状況等について報告や連絡しあい情報を共有している。利用者の状態は常に変化する為、バイタルやコミュニケーション等により把握した情報を基に、その日のケアに役立てている。医療が必要な場合は直ぐに連携医や主治医へ連携を取り対応出来ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員によっては、一部のケアしか担当しない為（時間パートの職員）、個人レベルでの細かい対応はできていない。地域の社会資源の把握が出来ていない為、地域の資源を使っての支援には結びついていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域の社会資源について知る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

6. 連携・協働

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	1	2	12	17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1		1	15	17
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	3	4	9	17
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2	4	11	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>管理者やケアマネジャーレベルではサービス機関との会議（サービス担当者会議）や電話での連携等出来ている。同様に医療機関との連携は管理者・ケアマネジャー・看護職間で常に出来ている。管理者は地域包括支援センターの協議会等に定期的に参加している。町内の健康体操や文化祭等に参加している。地域の“子供避難の家”の指定を受けている。利用者から戦時中の地域の話聞く為に、地域の方の訪問があった。夏祭りには地域の住民の方にチラシや案内状を配布し、大勢の地域住民の方々に事業所に来て貰う事が出来た。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>一般の職員や時間パートの職員は地域に出向いたり、地域会議に出席する機会は余りない。事業所に窓口事務担当者がいない事もあり、地域の住民が気軽に立ち寄れる環境にない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域の住民の方々が気軽に立ち寄れる場づくりをしたい。今年度出来なかった地域に案内を出してテラスお茶会の開催を実行に移したい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

7. 運営

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		5	4	8	17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		10	3	4	17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	4	9	17
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	2	3	11	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>職場内での毎日のミーティング（朝・夕）や月 1 回夕方に全体会（全職員参加型の会議）を開催し、利用者に関する情報の共有に努めると共に、スタッフ各々が自分の考えや意見を言える機会を作り意見を言い合っている。利用者や家族からの意見や要望・苦情等聞いた時は上司に伝え、全員で問題を話し合い改善に努めている。事業所での解決が困難な時は法人理事長に相談し対応。運営推進会議に於いても事業所内部の事を隠さずオープンにし伝える事を行っている。地域の行事等に幾つか参加出来ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員の勤務がシフト制である事や時間パートの職員も多い事等から、月 1 回の全体会への職員全員の出席が難しい。同様の理由から地域と接点を持てる職員が限られている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>出来るだけ多くの職員が地域との交流に参加出来る機会を作る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		8	3	6	17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	7	7	17
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	14	17
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	3	6	17

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 職員 1 人 1 人が年間の研修計画を立てて実行に努めている。毎月 1 回全員参加型の職場内勉強会を開催している。職場外の研修に少なくとも一人 1 回 (年間) は出席出来る様に、勤務表に研修を組み入れる様にしている。各自希望の研修の申し出も受け付け、研修費の法人負担等実施している。管理者レベルの地域連絡会に参加している。リスクに関しては小さな事でもヒヤリハットを提出しミーティングを実施し再発予防に努めている。普段のケアでは利用者の転倒予防の為の見守りや環境整備に努めている。

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 自ら積極的に資格取得やスキルアップの研修に参加しようという意欲的な職員は限られている。勧めてもなかなか実行出来ない職員も多い。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
 今年度同様、来年度も職員一人一人が年間の研修計画を立て、今年度出来なかった事に取り組めるようにしていく。職場内研修を充実させる。例えば講師を招いての勉強会の開催など。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 14:00 ~ 16:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 緒方、牧、南、島村、石田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	8		1	17
②	虐待は行われていない	13	3		1	17
③	プライバシーが守られている	7	9		1	17
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	4	12	17
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	11		2	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束や虐待は行うことなく日々のケアが出来ている。利用者からも常に職員に対して好意的な評価を貰っている。身体拘束・虐待・プライバシーに関する職場内勉強会を定期的実施し職員の教育に努めている。利用者や家族が自由に意見や希望を伝えられるように、管理者は 24 時間電話対応している。成年後見制度の利用が必要な利用者は現在いないが、管理者が社会福祉士の資格を持ち必要時には相談に乗れる。個人情報については契約時に個人情報同意書を取り交わし対応している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自己評価で“ほとんど出来ていない”と回答した職員は、短時間パートの職員で、身体拘束や虐待を考える様な場面に遭遇していない事から、そのような回答をしたものであり、身体拘束や虐待をしているのではない。又プライバシーに関しては「自分の気づきがありたいかな？」と自戒の意味での回答である。今回初めての自己評価の為、職員全員が評価の内容について十分な理解が出来ないままで回答している事もあるが、そのまま事業所評価に反映している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>事業所評価についての職員勉強会を開催し、評価の内容の意味を全職員が理解して個別評価が出来る様にし、次回の事業所評価に繋げていく。 身体拘束・虐待・プライバシー・個人情報の管理は介護事業所にとって大事な守るべき事である。今後も定期的な勉強会を開催し、職員及び事業所の質の向上に努めていく。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 杏友会	代表者	野津原 昭	法人・事業所の特徴	母体が医療法人である事から医療連携がスムーズに取れる。看護師・准看護師の資格を持つ職員が多く就業しており、医療依存度の高い利用者も安心して利用できる。セラピストを配置して通い利用者へのリハビリ訓練を実施する事で、筋力低下による転倒・骨折予防に力をいれている。又地域の住民の方との交流、外出レク等を毎月計画し地域とのつながりの中でその人らしい生活の支援が出来る様心がけている。
事業所名	小規模多機能型居宅 介事業所 ゆう	管理者	緒方 易子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	2人	1人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			外出行事等もあり楽しめている。車椅子の利用者にはホールスペースに余裕が欲しい（利用者）全体としては良い介護・運営が出来ていると思う。	○職員の誰もが地域と馴染みの関係になれる様に、外部に開かれた事業所を作って行く。 ○利用者一人一人の声をきちんと聴いて介護に活かしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			認知症の利用者の安全確保や、事業所の防犯面を考えると、施設せざるを得ないのは理解できる。しかし制度上は拘束に値するとすると難しい所である。	○地域の方が自由に入出入りしやすいように、環境面の改善が必要。イベント等がある時には表に案内版を設ける等、地域の方も一緒に楽しめる工夫をする。
C. 事業所と地域のかかわり			夏祭りや文化祭、健康体操等交流出来ている。参加利用者からも「楽しい」との評価あり。	○現在出来ている地域との交流の継続
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			毎日の勤務スタッフに余裕が無い中では、地域に出て行く事が難しい。	○公民館体操（百歳体操）のお茶会を通して、地域の方々と知り合い信頼関係を築いていく中で、地域の困りごと等で役に立てれば協力させて頂きたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み			色々な事を検討するまでには至っていない。	○地域の困りごと等についての情報共有が出来き、地域に積極的に関わられる事業所にしていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策			毎年2回防災訓練（主に避難訓練）を実施し。1回は消防署から来て頂いている。地域との防災面の協力体制が出来ていない。	○事業所の防災計画等は地域にも知らせ、合同での実施等につなげる。 ○地域の防災訓練に参加する。

